

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-432	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
真壁 「上下あき」 薄棧あり					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要								
	真壁で梁及び土台と面材を接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
要	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面		13,202 円/kN
							設計見積り例		—
適用範囲					写真・図				
構法		木造在来軸組工法							
規模		3階建て以下							
基礎、地盤		特になし							
適用部位		内外壁							
耐震性能									
評価仕様:真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
5.2kN/m		730kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 1.0$ 低減なし									
壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$									
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
仕様	構造用合板		真壁、厚 12mm、縦使い、各高さ 400mm 以上						
			釘 N50、CN50、@100mm 以下、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下						
	間柱		なし						
	継手受材		奥行 30×見付 90mm 以上、釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち、四方受材(縦)に対し、継手受材負け						
	上下受材		奥行 30×見付 90mm 以上、釘 2-N75 斜め打ち						
	四方受材		〈縦〉 奥行 30×見付 40mm 以上、釘 N75 @150mm 以下、または N90 @200mm 以下						
	下地材		なし						
	アルミアングル		なし						
かさ上げ材		なし							
その他									